

2024年4月～2024年6月

学生 Small CoRE Project

鳥取大学は、学生の課外における主体的な地域貢献への取り組みを公募し支援しています。鳥大生が主導するグループが企画・運営する活動に対して、活動経費を支援します。

地域貢献にチャレンジすることが学生の成長のきっかけになり、その取り組みが地域構成につながる小さな核となることを期待します。

2024年採択されたのは、この11団体！



- 関金町における買い物の場の存続×多世代交流プロジェクト
～関金地区新興協議会との連携による「ふれあい市場」の開催～
- マルビバプロジェクト ～こどもの遊び場×学び場を作ろう！～
- 地産知承プロジェクト ～地域で産まれた知を継承する～
- 健やかな心を育てよう ～心理教育絵本の開発～
- 障がい者施設での最新空間デザインアートを活用したレクリエーションの提供 ー余暇を充実させようー
- すなめぐ
- 結梨 くだものを知ろう！食べよう！楽しもう！
- 結梨 梨葉プロジェクト
- とりせふSDGs工作プロジェクト
- 旬結び 大学生と子供たちで料理教室を開催しよう！
- ばばのばプロジェクト ～駄菓子屋さんから始まる地域づくり～



企業見学シャトル便



企業見学シャトル便は、授業の空き時間を利用して少人数で県内企業を見学できるよう、2016年から実施している「地域創生推進プログラム対象の課外活動」です。

座学だけでなく企業の施設や設備を実際に見学することで、「知識の定着につながる」、「就職に役立つ」と学生たちにも人気のプログラムです。

因幡万葉歴史館／株式会社 兎ッ兎ワイナリー

訪問日：2024/4/20

参加者：留学生 25名



留学生の課外授業として二つの施設・企業に見学に行きました。因幡万葉歴史館では大友家持の国主赴任、藤原氏勢力、万葉集について学び、兎ッ兎ワイナリーでは農園や醸造所の説明、試飲もさせていただきました。

千代むすび酒造 株式会社

訪問日：2024/6/8

参加者：留学生 25名



「日本酒と日本文化」について事前に学んだのち、見学に臨みました。精米から発酵、蒸しの作業やもろみを絞る行程を実際使う機械を見学しながら説明を受けました。最後には試飲もさせていただきました。

一般財団法人日本きのこセンター菌草研究所

訪問日：2024/4/17

参加者：農学部生 5名



今回の見学で椎茸栽培に関する知識を深め、研究開発の重要性やセンターの活動内容を理解することができました。また、実際に原木を観察するなど、視覚的な体験を通して印象深い内容となりました。

山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館

訪問日：2024/4/19、5/10

参加者：農学部生延べ約70名



農学部菅森先生の里地里山演習授業履修生が参加。ユネスコ認定された山陰海岸ジオパークの歴史、海岸地形や鳥取砂丘形成の説明を受け、さらに砂や生き物の飼育展示など多くの標本に触れ、地質学を学びました。

とっとり花回廊

訪問日：2024/6/25

参加者：農学部 18名



農学部木戸先生、野波先生らに同行し、ゼミ生達とバックヤードを含む施設見学をしました。植物を凍結・解凍させ、花の状態を保っている点や、絶滅危惧種の植物を保存している点を知り、学生たちは驚いていました。

今年度より学生が主体的に地域と連携して活動する制度 「学生 CoRE コミュニケーター」が始まりました！

この制度は、以下①～③により本学の学生の県内定着を推進することを目的として活動する制度です！

- ① 学生の視点や意見を取り入れることを狙いとする
- ② 地域社会との連携に関わる支援活動に従事させることで地域を支える人材へと学生を育成する
- ③ 地域の課題解決や相互交流の促進に資する活動を活性化させる

このような活動を行います

大学の地域連携事業やイベントの自主企画
地域のイベントやプロジェクトの参加
他の学生が実施する地域連携活動への助言

給与と
活動費を
支給！



『地域へGo!』

～社会を動かす鳥大生～

学生 CoRE コミュニケーターが8つの学生団体を紹介する冊子を作成！
地域社会に貢献する鳥取大学生の熱意と創造力が詰まった内容です！

学生 CoRE コミュニケーターが立ち上げたプロジェクト 1



開催
2024年
5月17日
5月31日



SDGs は今や日本でも幅広い世代・業種に浸透し、目標達成のために様々な活動が行われています。このアカデミーではとっとりSDGs 伝道師である、株式会社澤寿運輸代表取締役の澤田健吾氏と、美保テクノス株式会社安全環境室SDGs 推進担当の洋谷友子氏をお招きし、「SDGs とどう向き合うべきか」について、カードゲームを使って楽しく遊びながら導入と実践を紹介していただきました。

学生 CoRE コミュニケーター

鳥大卒業生に
聞きたいこと。

学生 CoRE コミュニケーターが立ち上げたプロジェクト 3



開催：2024年6月20日

卒業後に県内で働く先輩との交流を行い、就職活動におけるアドバイスや相談などが可能な繋がりを作ることによって、県内就職者向上を目的に学生が立ち上げました。

今回は日本海テレビジョン放送株式会社から技術局放送技術部長の吉田淳史氏と営業局本社営業部の山田百々花氏、鳥取県庁から総務部人事企画課の竹間優人氏と政策戦略本部広報課の岡田友菜氏をお招きし、交流会を開催しました。はじめに先輩たちから現在取り組んでいる仕事内容や学生時代に取り組んでいたことについての紹介がありました。ゲストと学生が自由に話し合う時間が設けられ、和やかな雰囲気の中で情報交換が行われました。

学生 CoRE コミュニケーターが立ち上げたプロジェクト 2



開催：2024年6月14日

地域情報サイト「とっとりずむ」の代表取締役、酒本勇太氏を講師に、学生ライターとして活動するための講習会が行われました。酒本氏よりウェブライティングの基本から具体的な応用までを解説して頂き、参加者は真剣に耳を傾けていました。学生たちがどのような記事を執筆し、どのように鳥取の魅力を発信していくのか今から楽しみです！

学生 CoRE コミュニケーターが立ち上げたプロジェクト 4

開催：2024年6月21日

フクフクする青谷駅を
創るワークショップ



人口減少に伴い2022年に無人化された青谷駅。JR西日本によると今後数年で簡素化された駅舎に建て替えられるとのこと。青谷町出身の学生 CoRE コミュニケーターが青谷駅の歴史や現状、課題などを説明し、青谷駅の新たな活用イメージを地域の参加者で話し合いました。

県内全19市町村と地域協働に係る連携協定が締結できました。

令和6年3月25日（月）～4月3日（水）にかけ、鳥取県内12市町村との連携協定締結式を3会場（東部、中部、西部地区）にて行いました。

- 3/25（月） 東部地区 ▶ 岩美町、若桜町、八頭町 と締結（鳥取大学広報センターにて）
3/28（木） 中部地区 ▶ 倉吉市、三朝町、湯梨浜町、北栄町 と締結（倉吉市市役所にて）
4/3（水） 西部地区 ▶ 米子市、境港市、日吉津村、伯耆町、日野町 と締結（米子市市役所にて）

全自治体と協定の締結ができたことで、各自治体の持っている情報や資源の全県的な共有、そして共通課題への総合的なアプローチによる県全体の底上げ、一方で個別課題における近隣市町村、圏域市町村への連携・共同支援等が可能となると考えます。

この協定の締結を契機として、県内全19市町村様との連携をより一層発展させ、各自治体の更なる活力ある地域づくりと、地域社会における重要な役割と責任を果たして参りたいと考えています。



わくわく社会見学

2024年 参加 農学部6名、工学部9名、地域学部2名、
6月10日 医学部2名、留学生10名

公益財団法人ふるさと鳥取県定住機構と鳥取大学が主催する、学部学年不問の社会見学。何が「わくわく」というと、なんとレストランのランチ付きで若手先輩社員のリアルな体験談が聞ける！実際の職場環境を見学することでリアルな雰囲気わかる！聞くだけでなく見て触って体験して仕事の魅力を体感できる！しかも、1社だけでなく複数の企業を1日で見学できる！と「わくわく」をもう1フレーズ増やしてほしいほど充実した社会見学なのです。



日圧スーパーテクノロジーズ株式会社

国内・海外に拠点を有し、電子部品（コネクタ）業界でトップクラスのシェアを誇るリーディングカンパニー。

実際に細かい部品を触ったり、ラインをみたりして何を製造しているのが実感できた。

あまり興味のなかった職種だったが、こんな仕事があるんだと思った。



株式会社チュウブ

培った技術と国内外で開発される新品種芝生を武器に、芝生の生産・販売・施工・管理・施設運営までを提案する芝生業界のトップカンパニー。

質のいい芝をたくさん作って、有名な競技場などにも出荷されていて驚いた。

普通芝生は座ったらちくちく痛いのチュウブさんの芝生はふかふかだった。

鳥取の魅力をまた一つ見つけられた。



大山乳業農業協同組合

鳥取県内のすべての酪農家が1組織となった酪農専門農協。「自分たちの手で牛を育て、乳を搾り、牛乳を届ける」という思いを持ち続けます。

いつもスーパーで見たり飲んだりしている牛乳が出荷されるまでの工程を見ることができておもしろかった。

実際に製品のコンセプトやデザインを考える体験をしてみて、こういう仕事がしたいと思えた。



とっとり県民カレッジ連携講座

鳥取大学サイエンス・アカデミー

公開講座サイエンス・アカデミーでは鳥取大学の様々な分野の教員が登壇し、取り組んでいる研究や関連分野のトピックなど、地域の方向けに専門家の立場からわかりやすくお話しします。



令和6年度のテーマ

鳥取大学発
「社会の課題」に向き合う

【場所】鳥取県立図書館

【日時】毎月第2・4土曜 10:30～12:00



Check



開催日	タイトル・講師
<シリーズ 鳥取で健康に暮らす>	
4/13	「高齢者の栄養摂取～フレイル予防を目指して～」 医学部医学科 教授 森田 明美
4/27	ウイルスのはなし ーいつでも、どこでも、だれにでも。 医学部医学科 准教授 金井 亨輔
5/11	居心地よいコミュニティとは 大学院医学系研究科 教授 竹田 伸也
5/25	地域共生社会の実現に向けた地域福祉の意義と役割 ～つながり支え合う福祉のまちづくりのススメ～ 地域学部地域学科 教授 竹川 俊夫 <とっとり県民カレッジ特別講座>
<CoRE ブックレットコラボ>	
6/8	「映画はどこにあるのかー鳥取の映像文化を支える人びと」 地域学部地域学科 准教授 佐々木 友輔 神戸大学大学院 杉島 和泉
<シリーズ 鳥取で健康に暮らす>	
6/22	次世代へ繋ぐ：妊娠から出産、子育てを共に支える 医学部保健学科 教授 鈴木 康江



制作：鳥取大学地域価値創造研究教育機構

協力制作：鳥取大学放送部

協力：日本海ケーブルネットワーク

YouTube



鳥取県民
チャンネル

「サイエンス・アカデミー」に登壇する講師の研究室を紹介する3分ほどのショート動画を2本制作いたしました。YouTubeの鳥取県民チャンネルからご覧いただけます。

1 工学部社会システム土木系学科
江本 久雄 准教授



2 工学部電気情報系学科
村田 真樹 教授



CoRE ラジオ

「もっと鳥取大学を身近に感じてほしい」という思いから当機構ではラジオ番組を放送しています。月に1人先生をゲストに招き、地域に関する研究のことから趣味のことまでご紹介します。



4月のゲスト

「つながるライフスタイル」代表 森 星斗さん
「結梨（柿酒・梨葉茶プロジェクト）」代表 福谷悠真さん
Small CoRE Project 担当教員 石田陽介 准教授



5月のゲスト

地域学部地域学科国際地域文化コース
佐々木友輔 准教授



6月のゲスト

地域価値創造研究教育機構地域連携推進室 森田将悟係長
学生CoREコミュニケーター 倉内言実さん
(学生団体TORICEF代表)
学生団体TORICEF副代表 西川歩芳さん



FM鳥取を受信できない方は、インターネット（リアルタイム配信のみ）からお聴きいただけます。

過去に放送されたアーカイブはこちらからお聴きいただけます。



【放送局】FM鳥取 82.5
(MC 山下弥生さん)

【放送日】毎週日曜 18:00～18:59



supported by **RADIO BIRD**
FM TOTTORI 82.5fm

ホームページ随時更新中！
CoREの活動やイベントの
情報盛りだくさん！

Instagram
@cdltottori

CDL
(コミュニティ・
デザイン・ラボ)
とは？

CDLは、当機構による様々な活動をスムーズに、活発に行っていくための拠点です。

地域の住民、学生、教職員など、様々な立場の方が協働を目的に使用することができます。

ご利用方法は上記のCoREホームページをご確認下さい。

<https://www.core.tottori-u.ac.jp> 鳥取地域価値

CDL コミュニティ・デザイン・ラボ

所在地：鳥取市湖山町南4丁目101番地
(鳥取大学正門入ってすぐの広報センター内)
Mail: chi-cdl@ml.adm.tottori-u.ac.jp